

# 関西経済レポート

生産、輸出に持ち直しの動きがみられ、また消費の一部に経済対策の効果が現れている。一方、雇用情勢は悪化が続いており、消費も全体としては弱い動きが続いている。企業の設備投資計画も減少。

全体として、底入れの兆しはあるものの、厳しい情勢が続いており、先行きはまだ不透明。

2009年9月16日

関経連経済調査部

## ～目次～

政府・日銀の景況判断	1
生産、大口電力需要	2
輸出入	4
個人消費	6
住宅投資	8
設備投資	9
公共事業、株価為替の動き	10
倒産	11
雇用	12

## ～政府・日銀の景気判断～

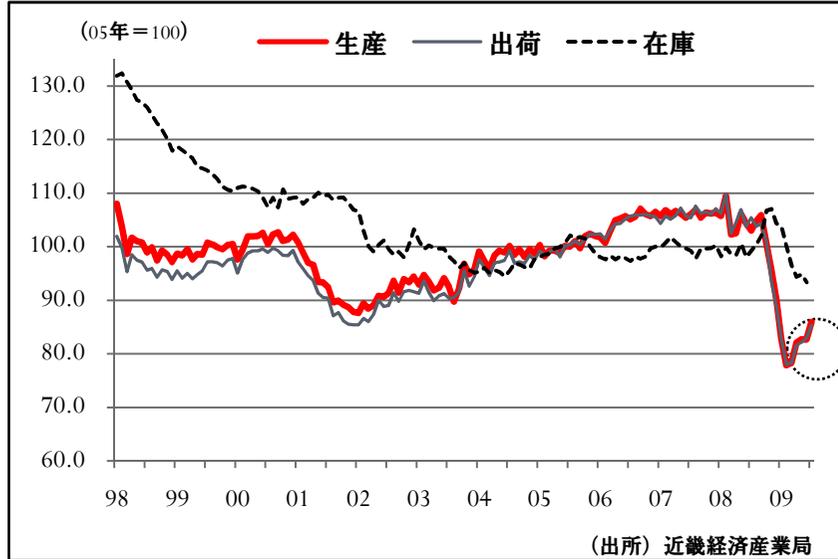
	<b>近畿</b>	近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	<b>中部</b>	金融経済月報 日銀名古屋支店	<b>全国</b>	金融経済月報 日銀	<b>全国</b>	月例経済報告 内閣府
2008年6月	⇒	一部には減速の動きが見られるが、基調としては緩やかに拡大している。	⇒	緩やかな拡大基調にあるが、その速度は足もと鈍化している。	⇒	減速している。	∩	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年7月	∩	減速している。	∩	引き続き高水準にあるが、足もとは減速がはっきりしてきている	∩	さらに減速している。	⇒	景気回復は足踏み状態にあるが、このところ一部に弱い動きが見られる。
2008年8月	⇒	減速している。	⇒	引き続き高水準にあるが、減速がはっきりしてきている	∩	停滞している。	∩	このところ弱含んでいる。
2008年9月	⇒	減速している。	⇒	なお高水準を保っているものの、はっきりとした減速が続いている。	⇒	停滞している。	⇒	このところ弱含んでいる。
2008年10月	∩	停滞している。	∩	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	⇒	停滞している。	∩	弱まっている。
2008年11月	⇒	停滞している。	⇒	高水準を保ちつつも、下降局面にある。	∩	停滞色が強まっている。	∩	弱まっている。さらに下押し圧力が急速に高まっている。
2008年12月	∩	停滞色を強めている。	∩	急速に下降している。	∩	悪化している。	∩	悪化している。
2009年1月	∩	悪化している。	⇒	急速に下降している。	∩	大幅に悪化している。	∩	急速に悪化している。
2009年2月	∩	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	∩	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年3月	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年4月	∩	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	⇒	急速に下降している。	⇒	大幅に悪化している。	⇒	急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。
2009年5月	⇒	大幅に悪化しており、厳しい状況にある。	↗	引き続き下降しているが、その度合いは緩やかになっている。	↗	わが国の景気は悪化を続けているが、輸出や生産は下げ止まりつつある	↗	景気は、厳しい状況にあるものの、このところ悪化のテンポが緩やかになっている。
2009年6月	↗	厳しい状況にあるが、悪化のテンポは和らいできている。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まりつつある。	↗	大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある。	↗	厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きが見られる。
2009年7月	↗	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。	↗	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	↗	わが国の景気は下げ止まっている。	↗	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
2009年8月	⇒	なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある	⇒	輸出と生産の持ち直し等から、下げ止まっている。	⇒	わが国の景気は下げ止まっている。	⇒	厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。

○日銀大阪支店は8月の景況判断を「なお厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある」とした（7月から継続）。

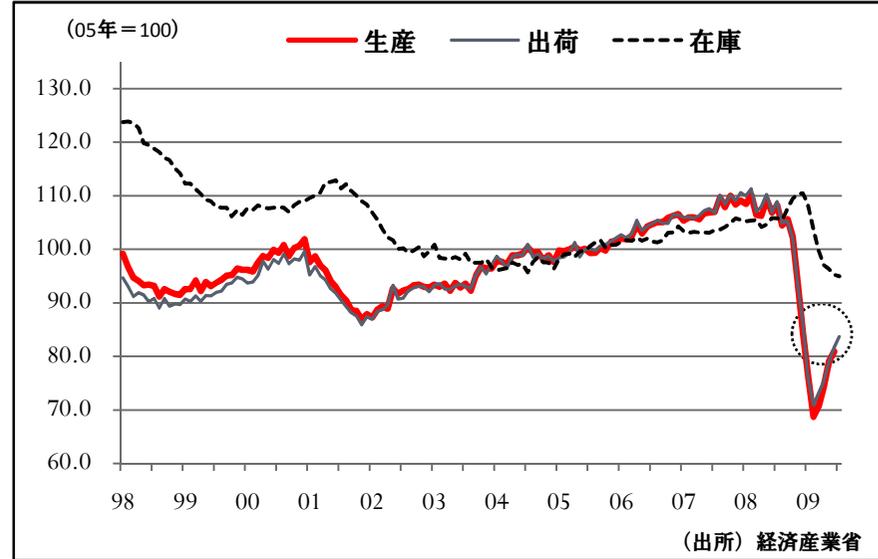
- ・「輸出は、海外経済の悪化などを背景に大幅に減少した後、持ち直している。設備投資は、企業収益が大幅に悪化するもとで、減少している。個人消費は、一部に政策効果がみられるものの、雇用者所得が減少する中、弱めの動きが続いている。公共投資は増加している。こうした需要動向のもと、生産は、持ち直しに転じている」とした。

# ～生産～

鉱工業指数の推移（前月比 近畿 09年7月速報まで）



鉱工業指数の推移（前月比 全国 09年7月確報まで）



業種別鉱工業  
生産指数  
(前月比、%)

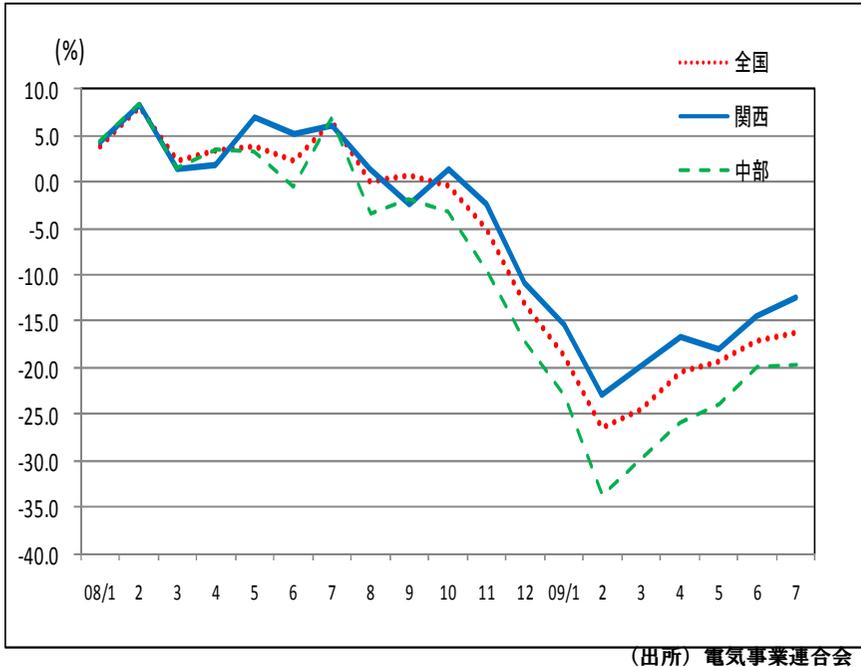
\*網掛は、生産が  
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿4月	4.9	5.4	▲3.9	3.5	5.9	▲11.2	9.6	8.6	10.5	3.6
近畿5月	0.7	6.6	9.6	▲4.6	2.5	2.3	7.0	1.7	▲3.6	▲2.6
近畿6月	▲0.1	8.1	▲3.3	▲20.6	5.8	5.4	20.8	3.9	0.7	1.6
近畿7月	4.0	6.0	11.3	22.3	3.9	0.1	▲12.2	3.3	5.3	▲1.8
全国7月	2.1	6.5	3.0	0.2	0.8	▲8.8	▲2.5	6.9	2.3	▲0.7

- ・近畿の7月（速報）の鉱工業生産指数は、85.9。前月比+4.0%と2カ月ぶりの上昇。出荷は前月比+2.9%と5カ月連続の上昇。在庫は、前月比▲1.6%と2カ月ぶりの低下。総じてみれば”持ち直しの動き”。上昇に寄与したのは、一般機械工業+22.3%、化学工業（除医薬品）+10.4%、金属製品工業+11.3%等。品目別にみると、ガスタービン、橋りょう、ポリプロピレンの順に上昇に寄与。低下したのは電子部品・デバイス▲12.2%等。
- ・全国の7月（確報）の鉱工業生産指数は、前月比+2.1%と5カ月連続の上昇。持ち直しの動きが見られる。ハイブリッド車の受注増などで、輸送機械工業、鉄鋼業、その他工業等が上昇。電子部品・デバイス工業、石油・石炭製品工業等が低下した。出荷は、前月比+2.4%と5カ月連続の上昇。在庫は前月比 ▲0.3 %と7カ月連続の低下。

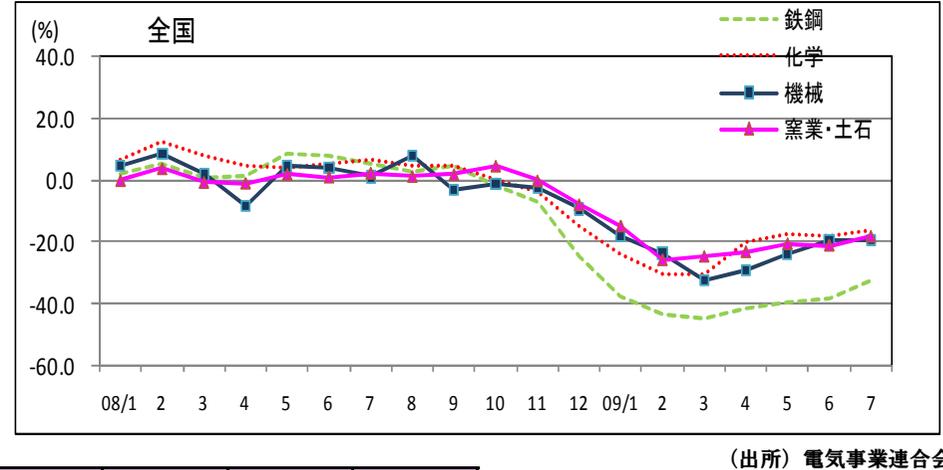
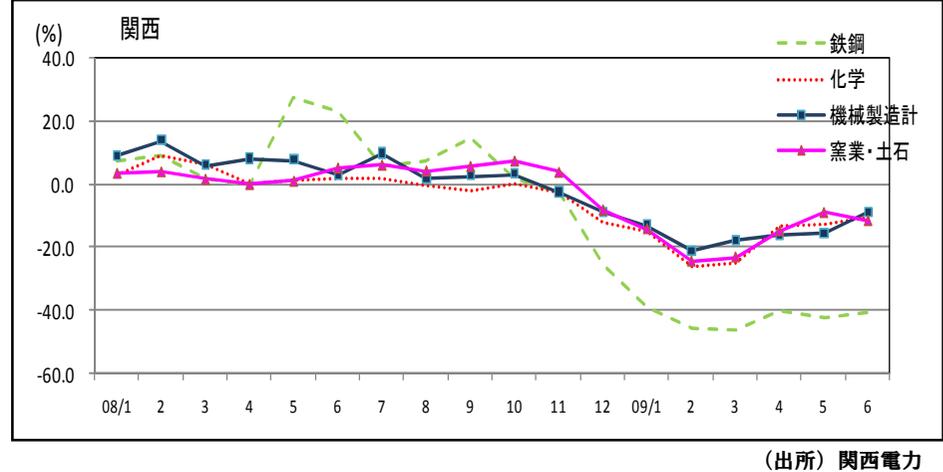
# ～生産～

産業用大口電力需要（対前年伸び率・09年7月まで）



- ・関西の大口電力実績は、前年比▲12.4%と9カ月連続で前年実績を下回った。前月(▲14.4%)からマイナス幅は若干縮小。
- ・全国は▲16.3%で前月(▲17.0%)からマイナス幅が若干縮小。
- ・関西を業種別にみると、主要11業種のうち、『石油・石炭製品』のみ前年を大幅に上回り、他はすべて前年比マイナスとなった。

大口電力産業別実績（対前年伸び率・09年7月まで）

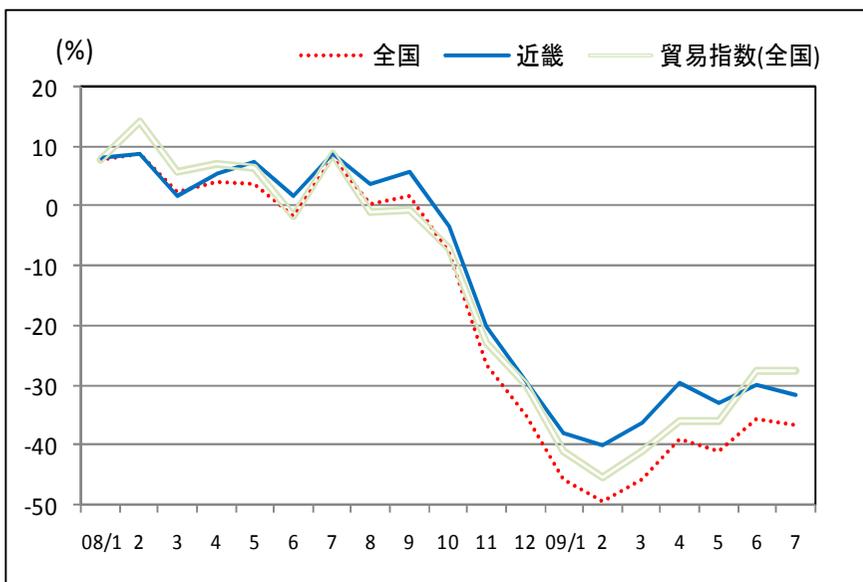


	食料品	繊維	パルプ・紙	石油・石炭	化学	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
5月	▲ 2.5	▲ 25.6	▲ 10.0	▲ 13.9	▲ 12.7	▲ 21.8	▲ 8.8	▲ 42.3	▲ 25.4	▲ 15.3
6月	1.0	▲ 20.7	▲ 5.7	1.4	▲ 10.6	▲ 15.2	▲ 11.3	▲ 40.7	▲ 22.3	▲ 8.6
7月	▲ 2.4	▲ 19.5	▲ 9.3	65.4	▲ 8.6	▲ 17.2	▲ 8.1	▲ 31.9	▲ 25.2	▲ 10.3

\* 網掛は、前月からマイナス幅が縮小した業種

# ～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移（09年7月速報まで）

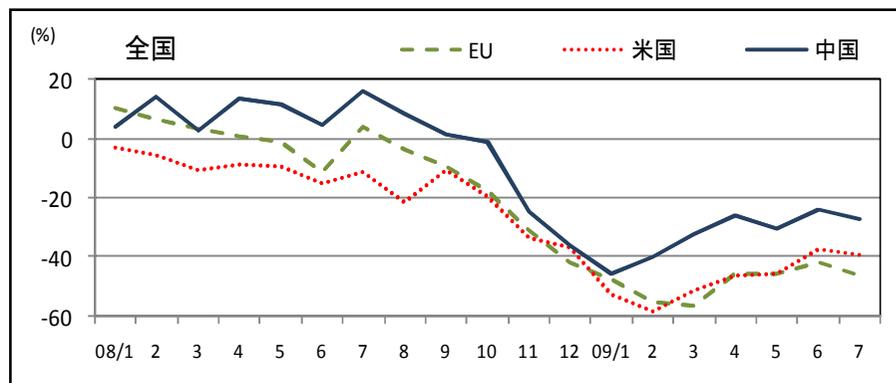
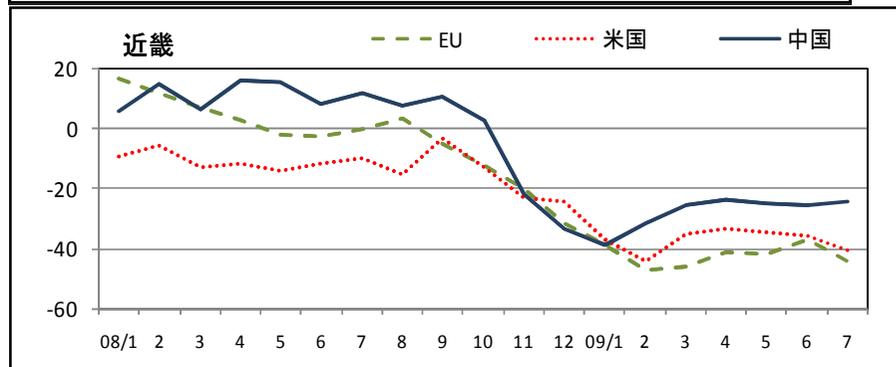


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

## ○近畿の月次の輸出動向（09年7月速報まで）

- ・09年7月の近畿の輸出は、前年同月比▲31.6%と10カ月連続のマイナス。前月（▲29.7%）からマイナス幅は若干拡大。
- ・前月比では2カ月連続で増加。
- ・地域別では、アジア▲25.8%、中国▲24.3%、EU▲43.7%、米国▲40.6%。一般機械の寄与度が高く、EUと米国向けでマイナス幅が拡大。
- ・商品別では、建設用・鉱山用機械、鉄鋼、半導体等電子部品、鉱物性燃料、自動車等の品目が減少に寄与。
- ・数量を表す貿易指数(全国7月)は、前年同月比▲27.6%と、前月（▲27.6%）から横ばい。

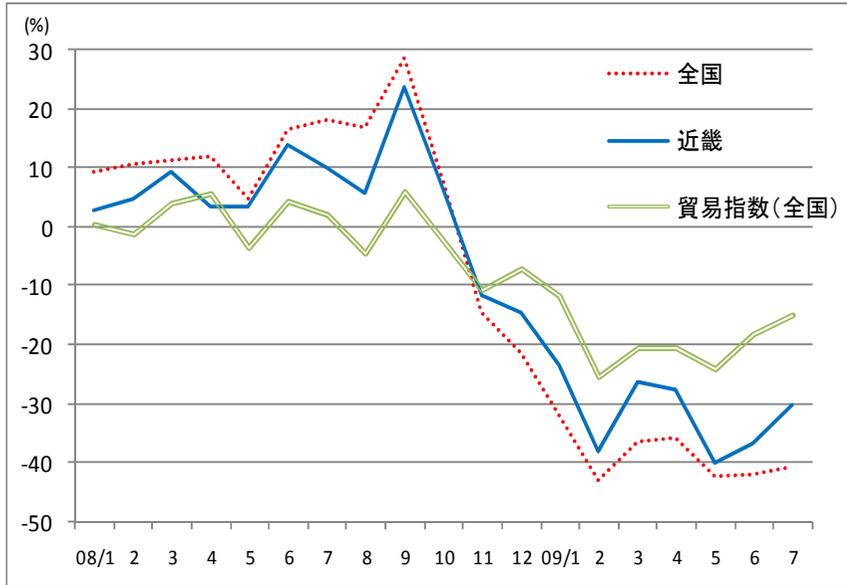
地域別輸出金額前年同月比推移・内容比較



商品名	近畿						
	4月		5月		6月	7月	
全体	▲ 29.4	↘	▲ 32.7	↗	▲ 29.7	↘	▲ 31.6
食料品	▲ 4.7	↘	▲ 12.8	↘	▲ 16.1	↗	▲ 11.4
原料品	▲ 25.7	↗	▲ 18.6	↘	▲ 33.1	↗	▲ 24.3
鉱物性燃料	▲ 43.2	↘	▲ 61.1	↘	▲ 67.2	↗	▲ 63.8
化学製品	▲ 18.8	↘	▲ 28.5	↗	▲ 20.6	↗	▲ 17.5
原料別製品	▲ 28.0	↘	▲ 36.7	↗	▲ 32.4	↘	▲ 36.7
一般機械	▲ 44.3	↗	▲ 40.9	↘	▲ 43.0	↘	▲ 46.1
電気機器	▲ 18.7	↘	▲ 23.6	↗	▲ 16.3	↘	▲ 19.0
輸送用機器	▲ 47.4	↗	▲ 46.9	↗	▲ 46.0	↗	▲ 42.9
その他	▲ 28.3	↗	▲ 26.3	↗	▲ 22.5	↘	▲ 28.4

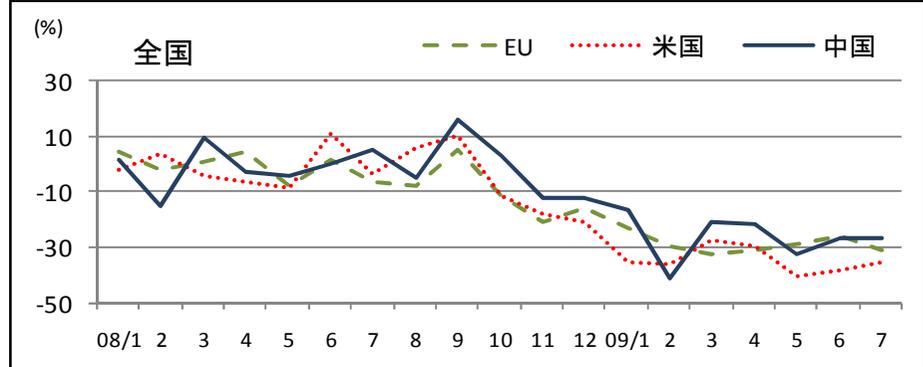
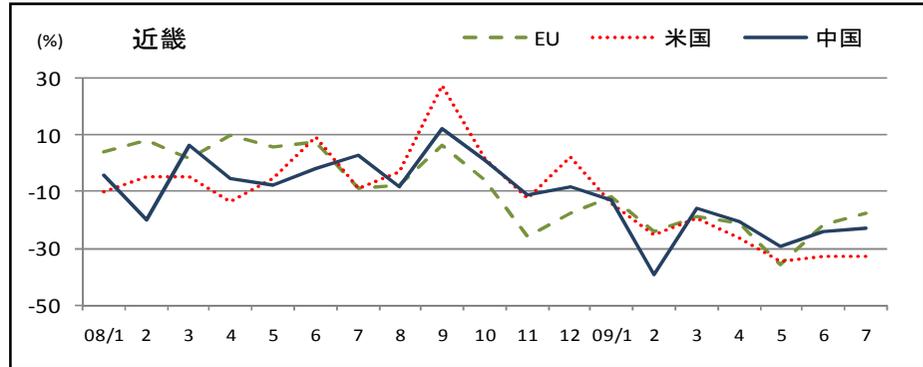
# ～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（09年7月速報まで）



出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

地域別輸入金額増減前年同月比推移・内容比較



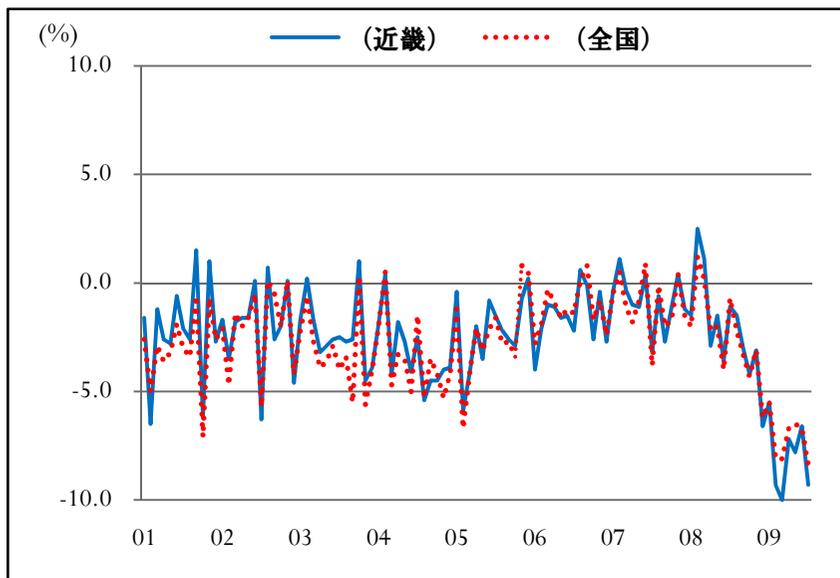
## ○近畿の月次の輸入動向（09年7月速報まで）

- ・09年7月の近畿の輸入は前年同月比▲30.2%と9カ月連続の減少。前月(▲36.7%)からマイナス幅は縮小。
- ・地域別では、アジア▲26.8%、EU▲17.7%、中国▲23.2%、米国▲32.7%。
- ・商品別では原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、鉄鋼、非鉄金属等が減少に寄与。原油及び粗油、天然ガス及び製造ガスについては、価格下落の影響が大きい。
- ・数量を表す貿易指数(全国7月)は、前年同月比▲14.9%と前月(▲18.1%)からマイナス幅は縮小。

商品名	近畿						
	4月		5月		6月	7月	
全体	▲ 27.5	↘	▲ 40.0	↗	▲ 36.7	↗	▲ 30.2
食料品	▲ 15.7	↘	▲ 20.3	↗	▲ 13.4	↗	▲ 12.0
原料品	▲ 41.6	↘	▲ 45.2	↘	▲ 47.8	↘	▲ 54.9
鉱物性燃料	▲ 39.3	↘	▲ 66.1	↘	▲ 67.2	↗	▲ 43.3
化学製品	▲ 16.6	↘	▲ 24.4	↗	▲ 21.7	↗	▲ 14.5
原料別製品	▲ 41.0	↘	▲ 50.1	↗	▲ 48.1	↗	▲ 47.0
一般機械	▲ 36.3	↘	▲ 46.1	↗	▲ 31.0	↘	▲ 43.4
電気機器	▲ 28.1	↗	▲ 26.9	↗	▲ 22.0	↗	▲ 20.5
輸送用機器	▲ 32.9	↘	▲ 34.8	↘	▲ 36.6	↗	▲ 27.4
その他	▲ 8.7	↘	▲ 21.2	↗	▲ 15.2	↗	▲ 10.3

## ～個人消費～

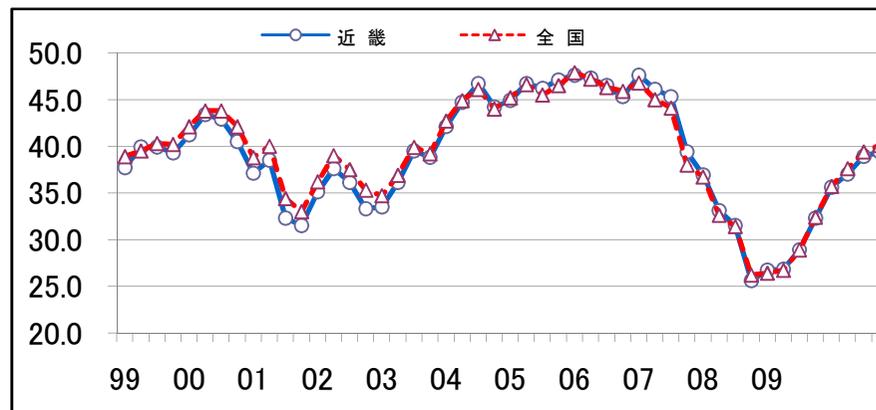
大型小売店売上高（前年同月比・09年7月まで）



（出所）近畿経済産業局

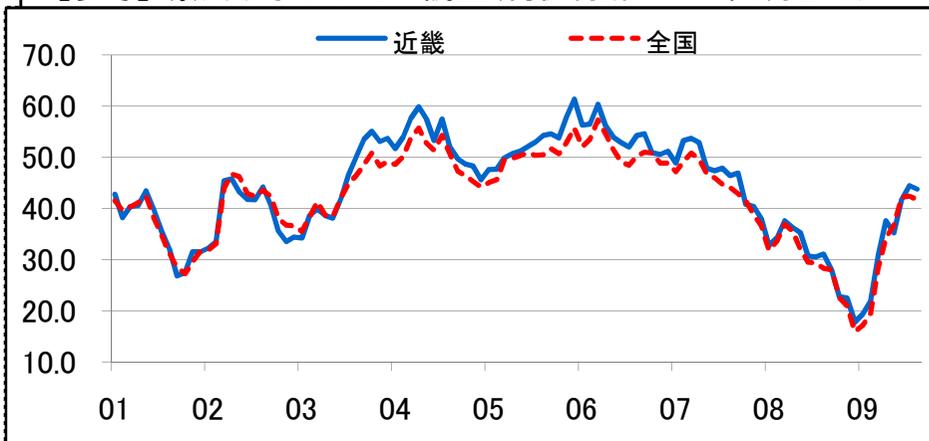
- ・近畿の09年7月の大型小売店売上高（既存店ベース）は前年比▲9.3%と16カ月連続のマイナス。前月（▲6.6%）からマイナス幅は拡大。天候不順やクリアランスセール前倒しの反動、単価下落などが影響。
- ・百貨店は、前年同月比▲13.2%（全国▲11.8%）と16カ月連続のマイナス。商品別にみると、生鮮食品、惣菜等が不調だった「飲食料品」、宝飾・貴金属などの高額品、化粧品等が不調だった「その他の商品」等全ての品目が前年を下回った。「衣料品」（▲18.1%）、「家庭用電気機械器具」（▲16.9%）等の減少幅が大きい。
- ・スーパーは同▲6.1%（全国▲6.0%）と8カ月連続のマイナス。畜産品、惣菜等が不調だった「飲食料品」、スーツ等が不調だった「婦人・子供服・洋品」、等全ての品目が前年を下回った。「衣料品」（▲13.2%）、「家具」（▲25.4%）、「家庭用電気機械器具」（▲21.7%）等の減少幅が大きい。

消費者態度指数（09年8月まで）



- ・8月の消費動向調査によると、近畿の消費者態度指数は39.4と、前年同月比+8.6、4カ月連続の上昇。

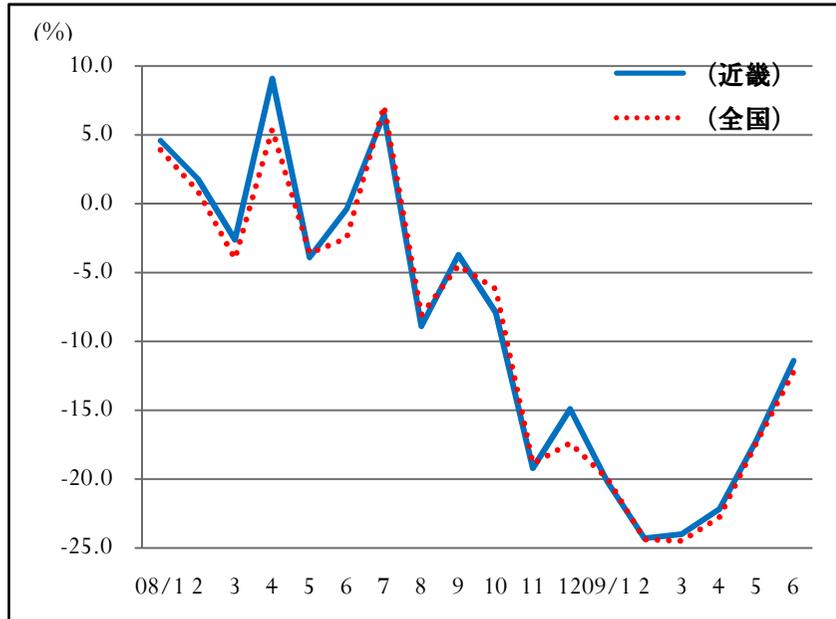
【参考】景気ウォッチャー調査（現状判断DI 09年8月まで）



- ・8月の近畿の現状判断DIは41.7で、前月(44.5)から▲2.8の悪化。全国は前月比▲0.7の41.7で、8カ月ぶりの低下。
- ・DI低下の要因は、天候不順や新型インフルエンザ流行による旅行関連の売上不振、夏物衣料の売上不振等。雇用関連は上昇。
- ・近畿の先行き判断DIは45.2で、前月比▲2.3。全国は同▲0.9の44.0。新型インフルエンザの流行拡大、企業部門での販売価格引下げ圧力等が影響。

## ～個人消費～

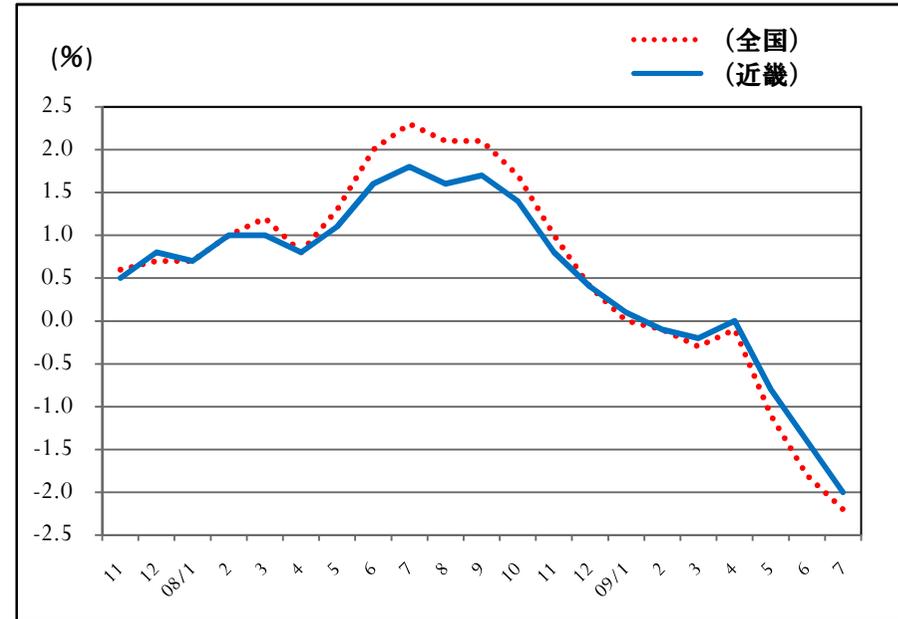
新車登録台数（前年同月比・09年6月まで）



（出所）近畿経済産業局

- ・ 近畿の09年6月の新車登録台数は、前年同月比▲11.4%と11カ月連続でマイナス。但し前月（▲17.2%）からマイナス幅は縮小。全国は▲12.2%。
- ・ 車種別では、減税対象車の多い普通車（▲8.1%）のマイナス幅が前月（▲20.7%）から大きく縮小したが、11カ月連続で前年を下回った。小型車（▲7.0%）が10カ月連続、軽四車（▲19.9%）が7カ月連続で前年を下回った。

消費者物価指数（前年同月比・09年7月まで）



（出所）総務省

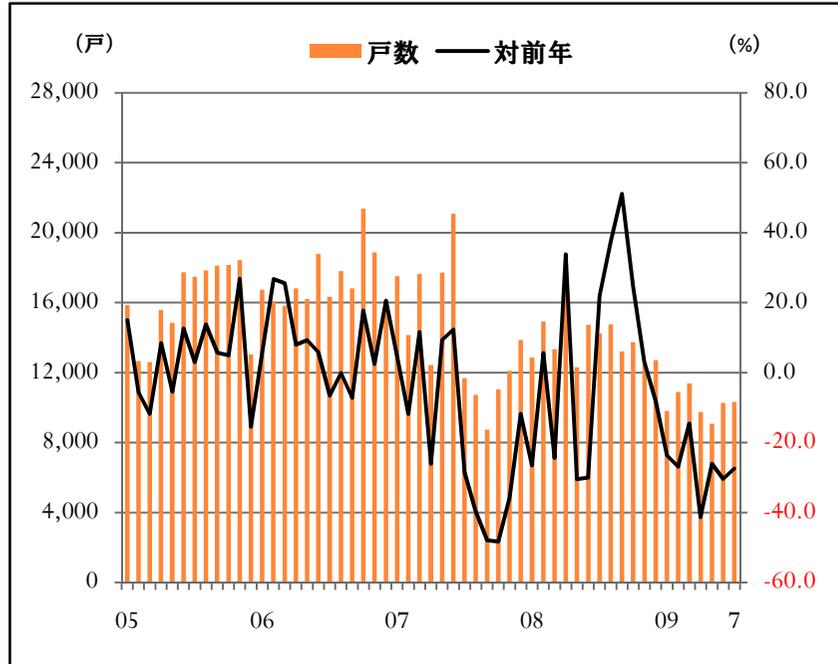
- ・ 近畿の09年7月の消費者物価指数は前年同月比▲2.0%。
- ・ 全国は▲2.2%で、先月に引き続き、比較可能な71年以降最大の下落率を更新した。
- ・ 交通・通信、光熱・水道、教養娯楽、食料などが下落に寄与している。

### 【参考—家電販売額】

- ・ 近畿の09年6月の家電販売額は前年同月比+4.1%と、2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 商品別では、冷蔵庫+24.3%、エアコン+17.6%、カラーテレビ+15.7%、等が前年を上回った。マイナスだったのは、携帯電話▲19.7%、パソコン周辺機器▲19.1%、パソコン本体▲15.2%等。（出所）GfKジャパン

## ～住宅投資～

新規住宅着工戸数（近畿・09年7月まで）



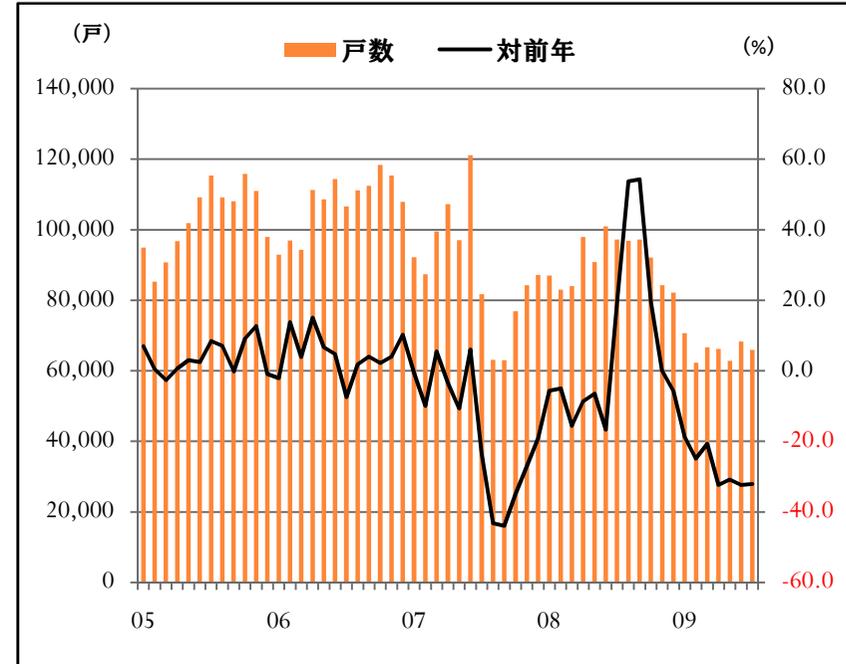
- ・ 近畿の新設住宅着工件数を見ると、7月は前年同月比 **▲27.5%**と8カ月連続の減少。前月(▲30.4%)からマイナス幅は若干縮小。
- ・ 利用関係別の7月の対前年同月比は、持家▲9.4%、貸家▲31.1%、分譲▲39.1%。分譲のうち、マンションが▲67.4%、一戸建て住宅が▲14.6%。引き続き分譲マンションの減少率が高い。

【参考－近畿のマンション市場】

- ・ 近畿の09年7月の契約率は63.8%と前月(60.4%)から増加したが、好不調の目安となる70%を下回り、厳しい状況が続く。在庫は7月末時点で5,569戸と、減少傾向ではあるものの高水準。

(出所) 不動産経済研究所資料

新規住宅着工戸数（全国・09年7月まで）



(出所) 国土交通省資料

- ・ 全国の新設住宅着工件数を見ると、7月は**▲32.1%**と7カ月連続の減少。6月からほぼ横ばい。
- ・ 利用関係別の7月の対前年同月比は、持家▲12.2%、貸家▲36.0%、分譲▲50.1%。分譲のうち、マンションが▲71.9%、一戸建て住宅が▲19.7%。分譲マンションの減少率は、2カ月連続で過去最低を記録。

## ～設備投資～

### 2009年度 関西地域設備投資動向

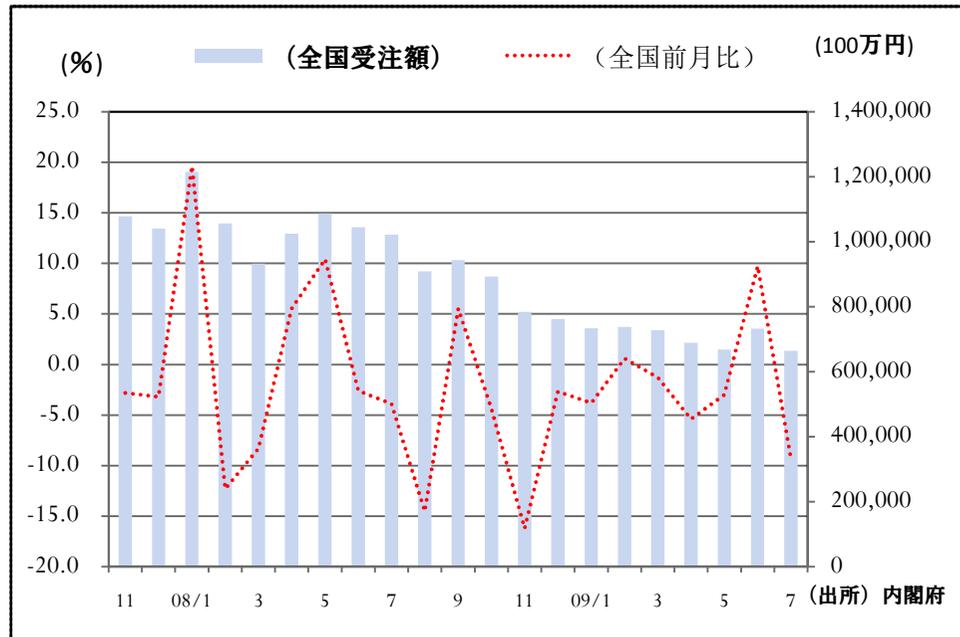
業種	2008年度 実績		2009年度 計画	
	関西 増減率	全国 増減率	関西 増減率	全国 増減率
全産業	1.7	▲ 7.2	▲ 5.1	▲ 10.6
製造業	10.7	▲ 10.4	▲ 1.3	▲ 22.0
食品	▲ 36.4	▲ 11.3	▲ 19.8	3.7
繊維	36.7	▲ 10.8	33.7	▲ 53.1
紙・パルプ	▲ 0.8	▲ 37.6	▲ 47.1	▲ 38.2
化学	13.5	▲ 11.0	▲ 21.3	▲ 11.2
石油	29.2	7.2	183.6	42.0
窯業・土石	87.2	13.8	▲ 48.0	▲ 32.3
鉄鋼	▲ 59.5	10.3	▲ 12.5	▲ 0.7
非鉄金属	▲ 27.7	▲ 6.0	▲ 5.5	▲ 36.6
一般機械	56.1	3.6	▲ 30.4	▲ 23.3
電気機械	1.3	▲ 31.4	38.4	▲ 27.2
精密機械	▲ 30.2	▲ 23.2	▲ 41.8	▲ 51.6
輸送用機械	2.3	▲ 7.7	▲ 9.6	▲ 34.1
非製造業	▲ 3.3	▲ 5.5	▲ 8.9	▲ 1.2

(出所) 日本政策投資銀行関西支店

○日本政策投資銀行関西支店が8月4日発表した「2009年度 関西地域設備投資動向」によると、

- ・ 関西地域の2009年度設備投資計画は、全産業で▲5.1%と3年ぶりに減少に転じた。製造業が前年比▲1.3%で7年ぶりの減少、非製造業が▲8.9%と2年連続の減少。
- ・ 製造業は幅広い業種で減少となったが、薄型ディスプレイ、電池産業の集積で高水準の投資が継続されており、全国他8地域で大幅2ケタ減少となる中、小幅減少に止まっている。

### 【参考】機械受注統計の推移(前月比 全国 09年7月実績まで)

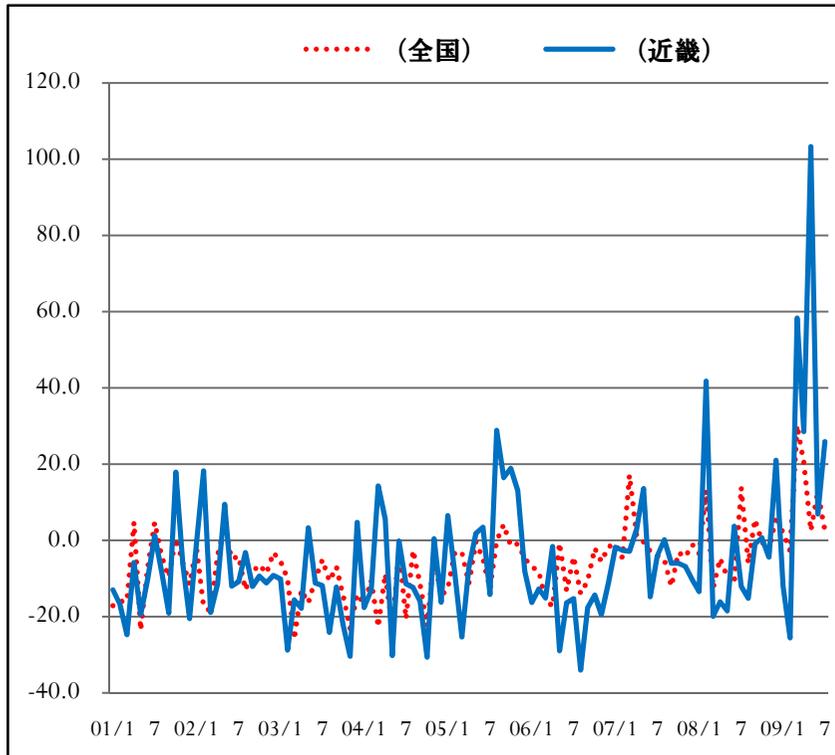


○機械受注統計の動向(民需 除く船電 09年7月実績まで)

- ・ 09年7月の「船舶・電力を除く民需」の機械受注額は6,647億円で、前月比▲9.3%。先月3ヶ月ぶりに増加(+9.7%)した後、再び減少。受注額は比較可能な1987年以来、最低額。
- ・ 製造業は前月比▲20.4%の2,237億円、非製造業(除く船舶・電力)は同 ▲2.8%の4,396億円となった。
- ・ 製造業は非鉄金属の大型案件等で急上昇した6月の反動もあるが、その他にも輸送機械工業(▲50.1%)、鉄鋼業(▲36.5%)、一般機械(▲32.0%)等8業種で減少。増加したのは石油・石炭製品(+51.2%)、紙・パルプ工業(+37.8%)、精密機械(+32.5%)、窯業・土石(+15.3%)等7業種。

## ～公共事業～

公共工事動向（前年同月比 請負金額・09年7月まで）

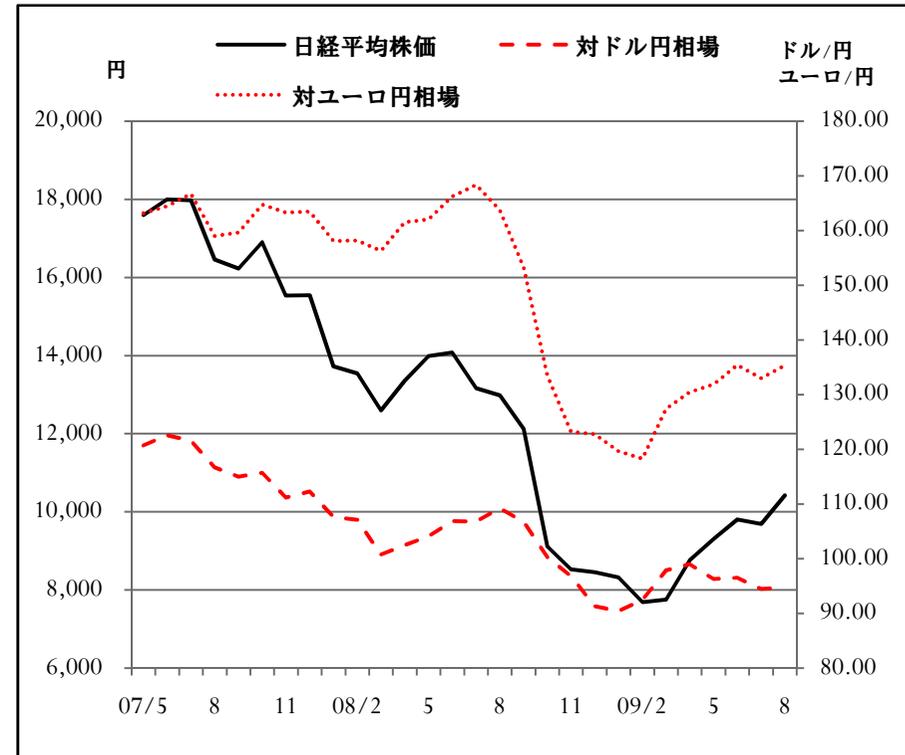


（出所）西日本建設業保証

- ・09年7月の近畿の公共工事請負額は、前年同月比+25.9%と増加し、1160億円となった。5カ月連続の増加。受注社者別では、国、独立行政法人、府県、市町村、その他公共団体のすべてで受注額が増加。府県別では、大阪(+72.1%)、京都(+34.9%)、奈良(+27.8%)で著増、滋賀(▲17.2%)のみ減少。
- ・主な工事は、阪神高速道路トンネル工事、寝屋川北部地下河川工事、東大阪市下水道工事等。

## ～株式・為替相場～

株式・為替相場の動き（期中平均値・09年8月まで）

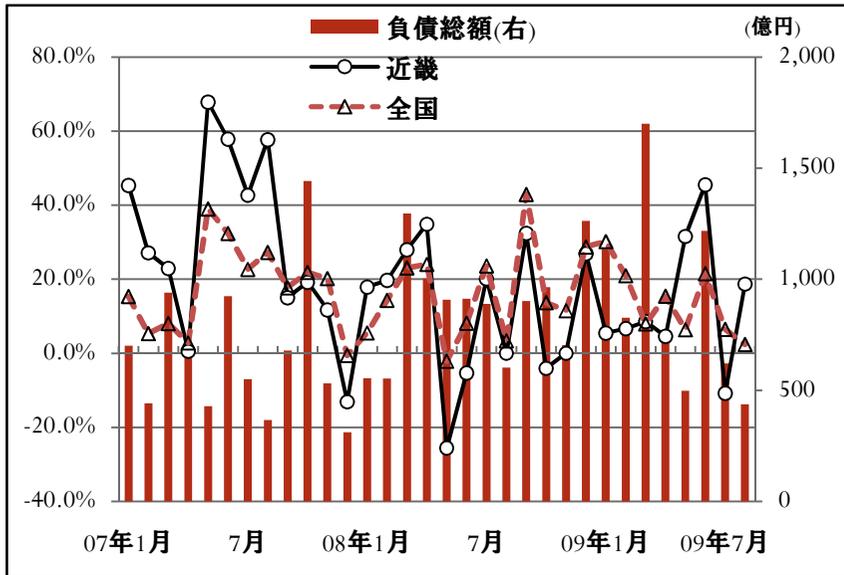


（出所）日本経済新聞社

- ・8月の日経平均株価(期中平均)は 10430.35円で、7月より1039.23円の上昇。期中平均が1万円台になるのは08年9月以来、11カ月ぶり。
- ・8月の対ドル円相場(期中平均)は94.8円で、7月より0.3円の円安、対ユーロ円相場は135.4 円で、7月より2.4円の円安であった。

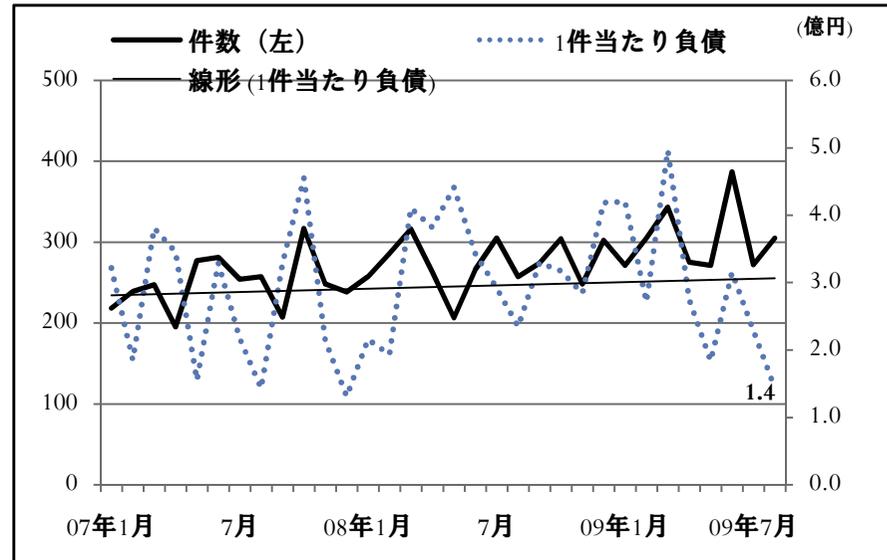
# ～倒産～

倒産件数・前年同月比の推移（07年1月～09年8月）



- ・09年8月の近畿の倒産件数は305件（前年同月比+12.1%）と、今年4回目の300件超。
- ・近畿の負債総額は前月比▲29.5%の437億円で、今年最少。
- ・全国は1,042件（前年同月比+6.5%）、負債総額は2753億円。

近畿の倒産件数と負債総額の推移



（出所）帝国データバンク

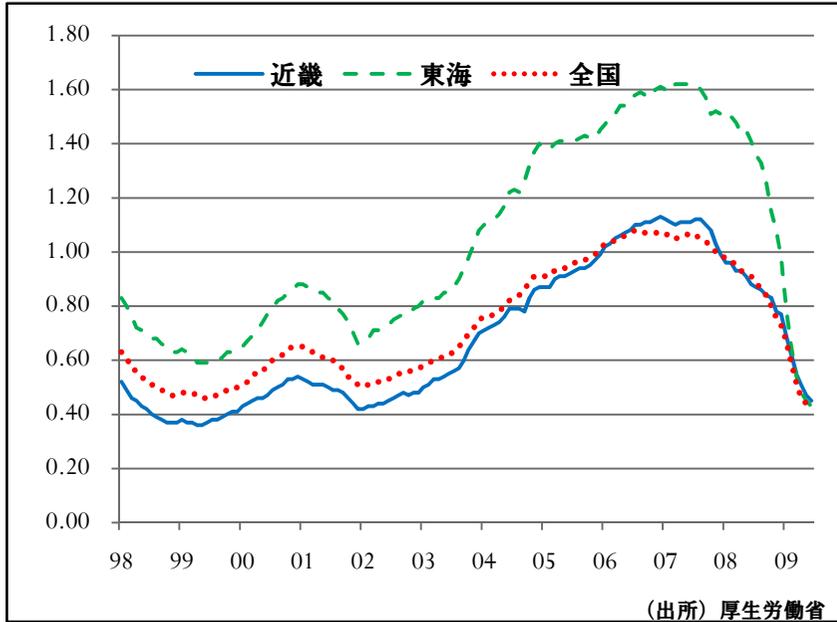
- ・資本金1000万円以下の企業が83.6%、負債総額1億円未満が72.1%を占めるなど、小規模零細倒産が多発。金融機関の融資姿勢の緩和、経済対策により大型倒産は減少したが、景気対策の枠外にある企業や、改正貸金法の完全施行を控えて零細企業の資金需要に応じ難い環境ができつつあることなどが原因と推測される。
- ・不要不急の消費を抑える傾向が顕著で、業種別では繊維、食品関連の卸・小売や、飲食店などのサービス業の倒産が前年同月比で大幅に増加。

09年7月以降の近畿の大型倒産

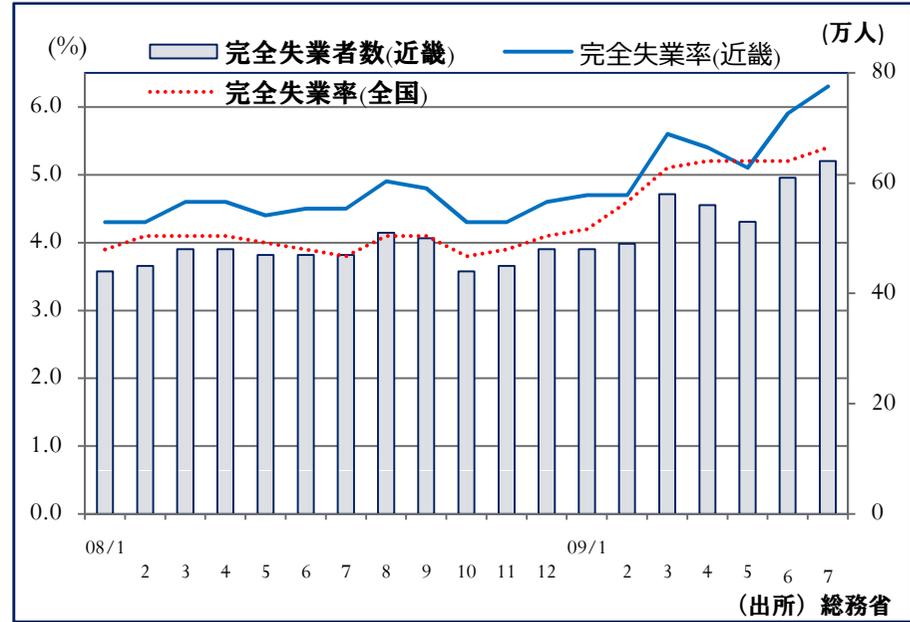
		(億円)	
7月	なつ運送	大阪:重量物運搬	197
8月	(株)ビッグジョン	大阪:不動産代理・仲介	60
	(株)関西マルキン	兵庫:和菓子・和菓子原料卸	40
	三交海産物(株)	兵庫:鰹節加工卸	40
	(株)元家	大阪:内装工事	12
	オーシャンホームズ(株)	兵庫:戸建住宅建築工事	11

# ～雇用～

有効求人倍率の推移 (09年7月まで)



失業率の推移 (09年7月まで)



地域別有効求人倍率 (09年7月：下段は前月比)

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.42	0.33	0.33	0.46	0.39	0.46	0.43	0.45	0.53	0.54	0.37
▲0.01	0.02	0.00	▲0.02	▲0.02	▲0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	▲0.01

- 09年7月の近畿の有効求人倍率は0.45。前月と同じ。63年以降の最低値は99年4～5月の0.36。
- 全国は、0.42倍で前月比▲0.01。3カ月連続で最低水準を更新。関東、北陸、九州で前月から悪化。

- 09年7月の近畿の完全失業率は6.3%で、前月(5.9%)から悪化。全国も5.4%で前月(5.2%)から悪化。
- 全国7月の季節調整値は5.7%で、前月(5.4%)から悪化。過去最低の水準。
- 83年以降、失業率の最悪の値は、近畿7.1%(02年7-9月期)、全国5.5%(02年4-6月期、03年1-3月期、4-6月期)。